

2 あなたの生活について

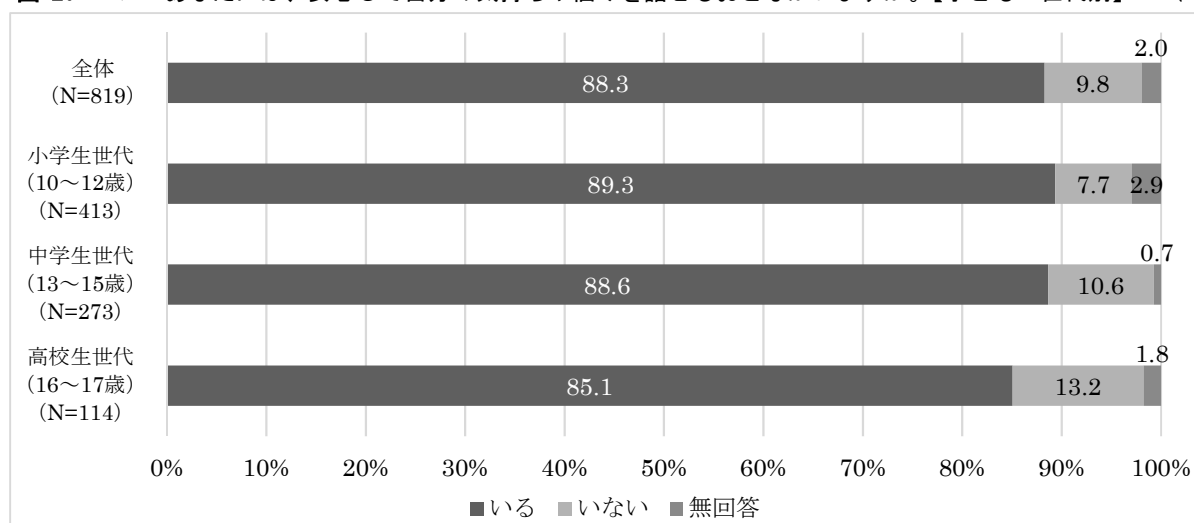
(1) 安心して話せる人

ア 悩みや相談事を話せる人の有無

【子ども：世代別】

子どもに、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとながいるかをたずねたところ、子ども全体では「いる」という回答が88.3%でした。世代別にみると、「いる」という回答の割合は、小学生世代が89.3%と最も高くなりました。

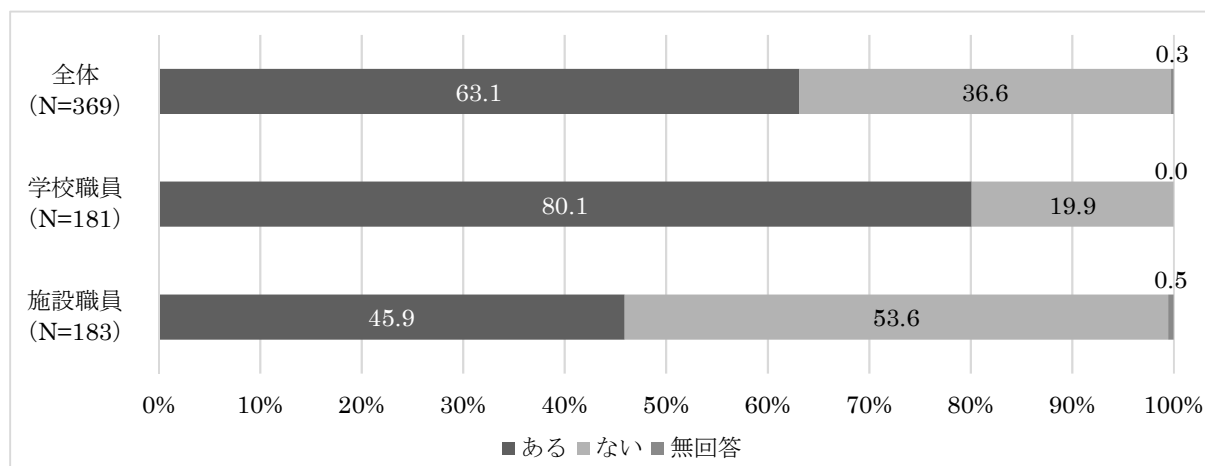
図 20 Q5 あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとないますか。【子ども：世代別】 (%)



【職員：施設別】

職員に、子どもから相談されたことがあるかをたずねたところ、「ある」という回答は学校職員では80.1%、施設職員では45.9%でした。

図 21 Q5 あなたは、子どもから相談されたことがありますか。【職員：施設別】 (%)



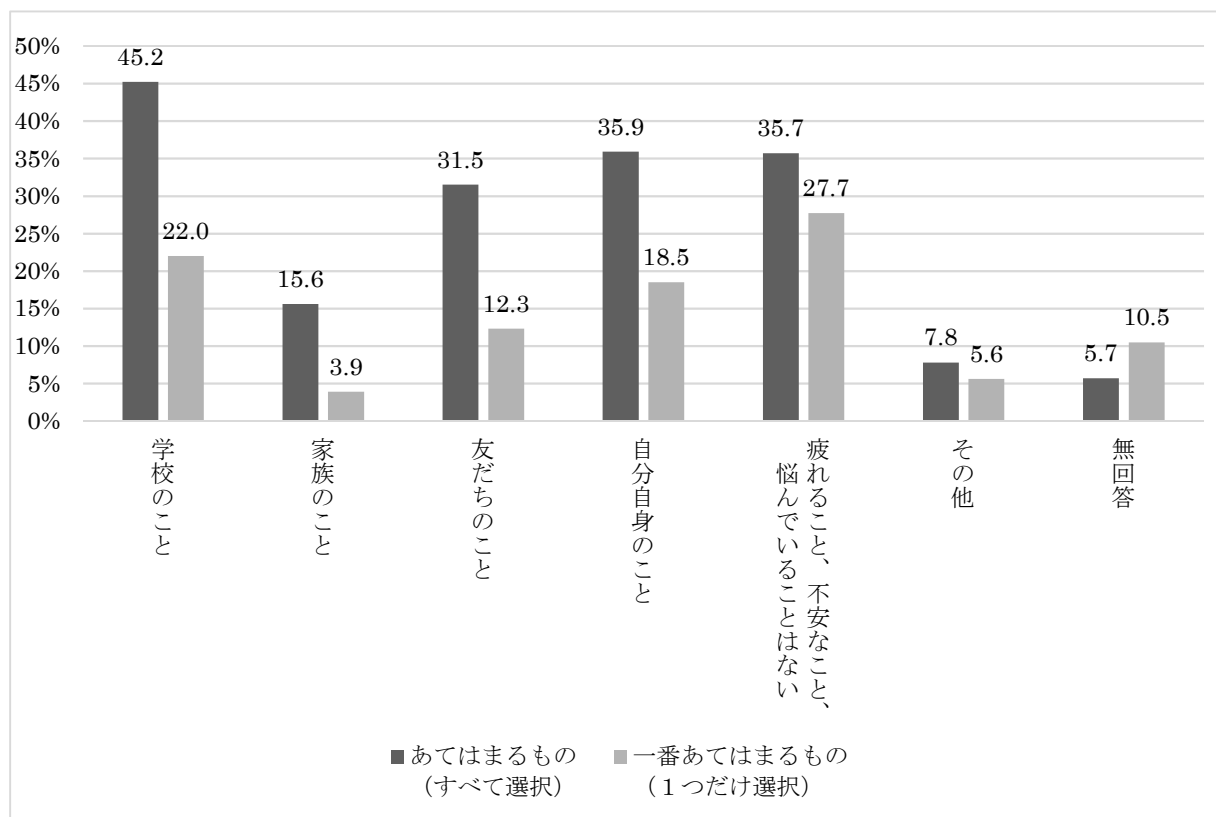
イ 疲れること、不安に思うこと

【子ども：全体】

子どもに、疲れること、不安に思うことはあるかをたずねたところ、最も回答の割合が高いのは「自分自身のこと」が35.9%、次いで「友だちのこと」が31.5%でした。また、「疲れること、不安なこと、悩んでいることはない」と回答した割合は35.7%でした。さらに、一番あてはまるものについては、「学校のこと」が20.8%、「自分自身のこと」が17.5%でした。

図22 Q6 あなたは、次の中で疲れること、不安に思うこと、悩んでいることは何ですか。【子ども：全体】

(%)



「一番あてはまるもの」のN=772
「その他」の回答についてP. 61 参照

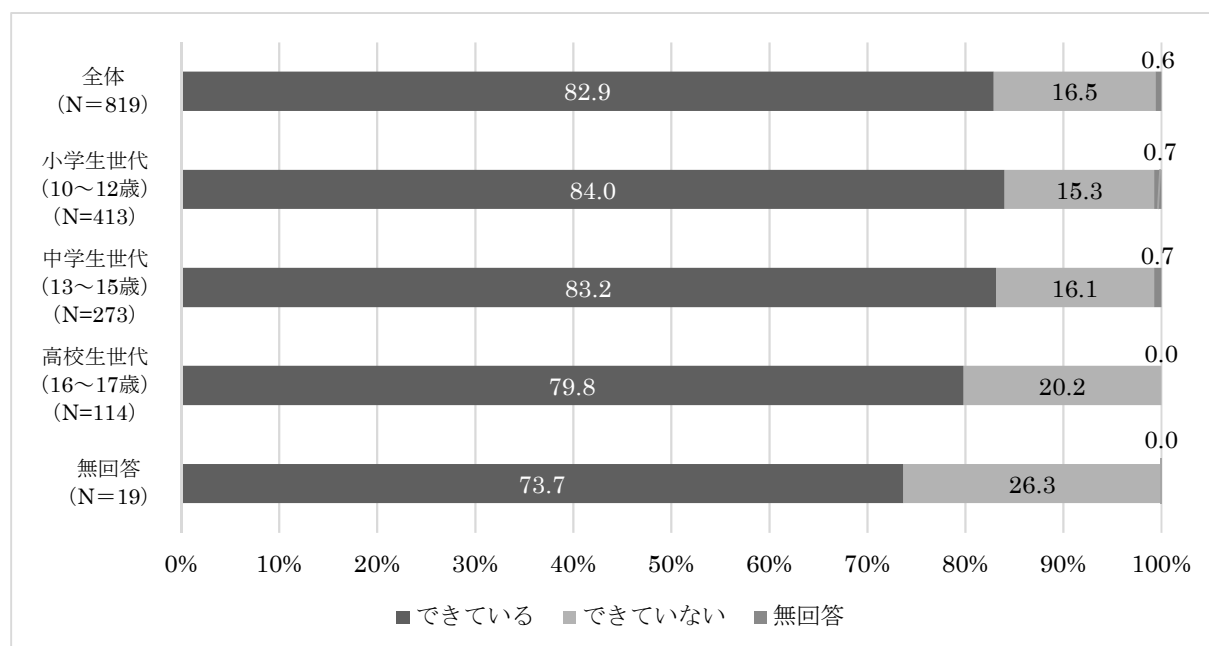
ウ 気持ちを伝えられているか、受け止めることができているか

【子ども：世代別】

子どもに、家で過ごしているときに、自分の気持ちをおとなに話すことができているかをたずねたところ、子ども全体としては、「できている」という回答が82.9%、「できていない」が16.5%でした。

世代別に見ると、「できていない」と回答した割合が最も高かったのは高校生世代で、20.2%でした。(図はP. 20 図23を参照)

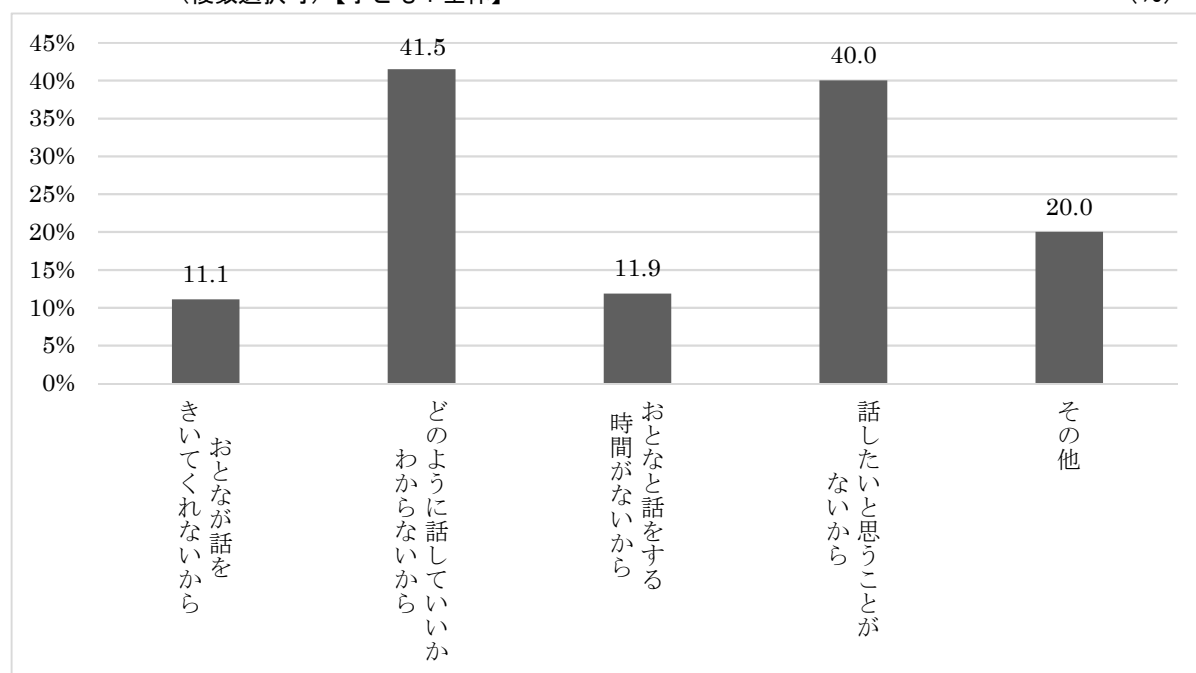
図 23 Q 7 あなたは、家ですごしているときに、自分の気持ちをおうちの人（おとな）に話すことができますか。【子ども：世代別】 (%)



【子ども：全体】

Q 7において「できていない」を選んだ子どもに対し、その理由をたずねたところ、「どのように話していいかわからないから」と回答した割合が最も高く、41.5%でした。

図 24 Q 7-1 Q 7において、「できていない」を選んだ人にお聞きします。その理由は何ですか。（複数選択可）【子ども：全体】 (%)

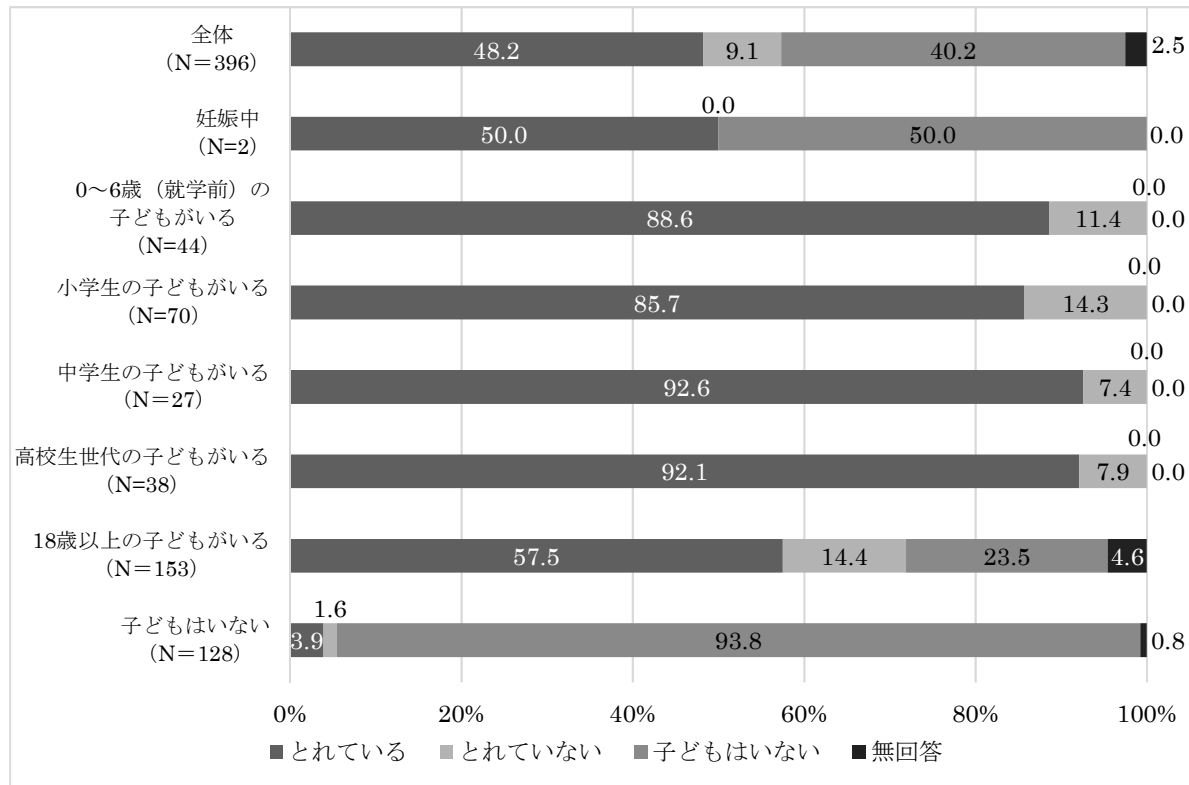


「その他」の回答についてはP. 62 参照

【おとな：子どもの有無別】

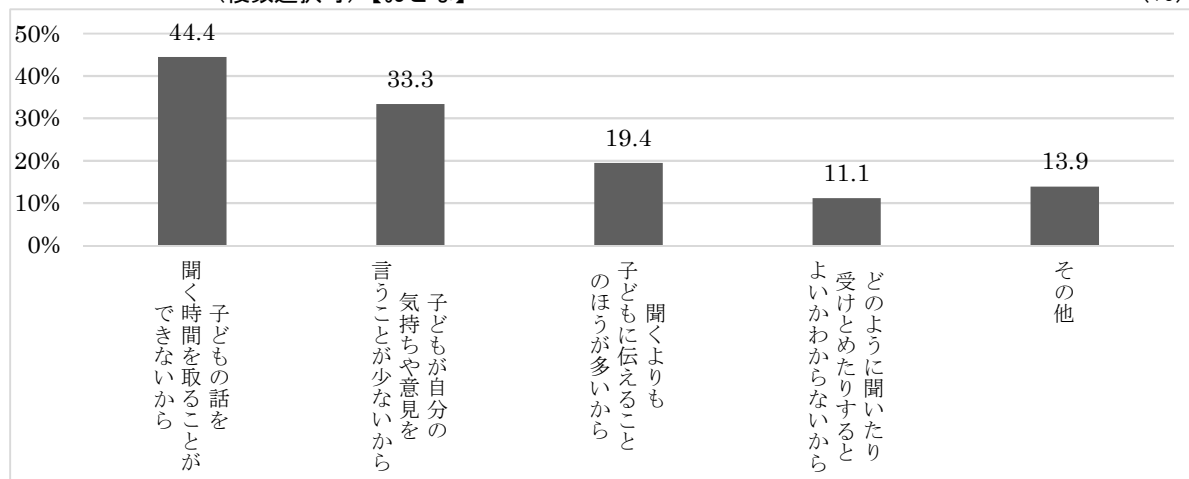
おとなに、ふだん子どもの話を聞く時間がとれているかをたずねたところ、おとな全体として、「とれている」という回答が 48.2%、「とれていない」が 9.1%でした。

図 25 Q 7 あなたは、ふだん子どもの話を聞く時間がとれていますか。【おとな：子どもの有無別】 (%)



Q 7において「とれていない」を選んだおとなに対し、その理由をたずねたところ、「子どもの話を聞く時間を取ることができないから」と回答した割合が最も高く、44.4%でした。

図 26 Q 7—1 Q 7において、「とれていない」を選んだ人にお聞きします。その理由は何ですか。（複数選択可）【おとな】 (%)

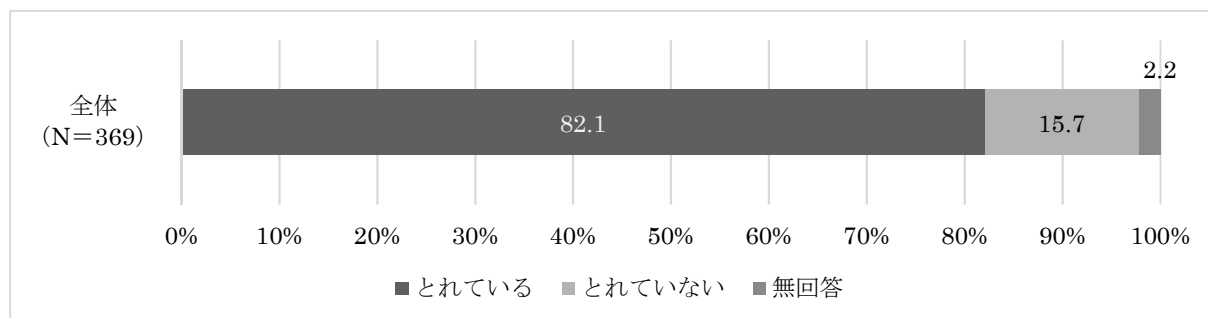


「その他」の回答については P. 97 参照

【職員：全体】

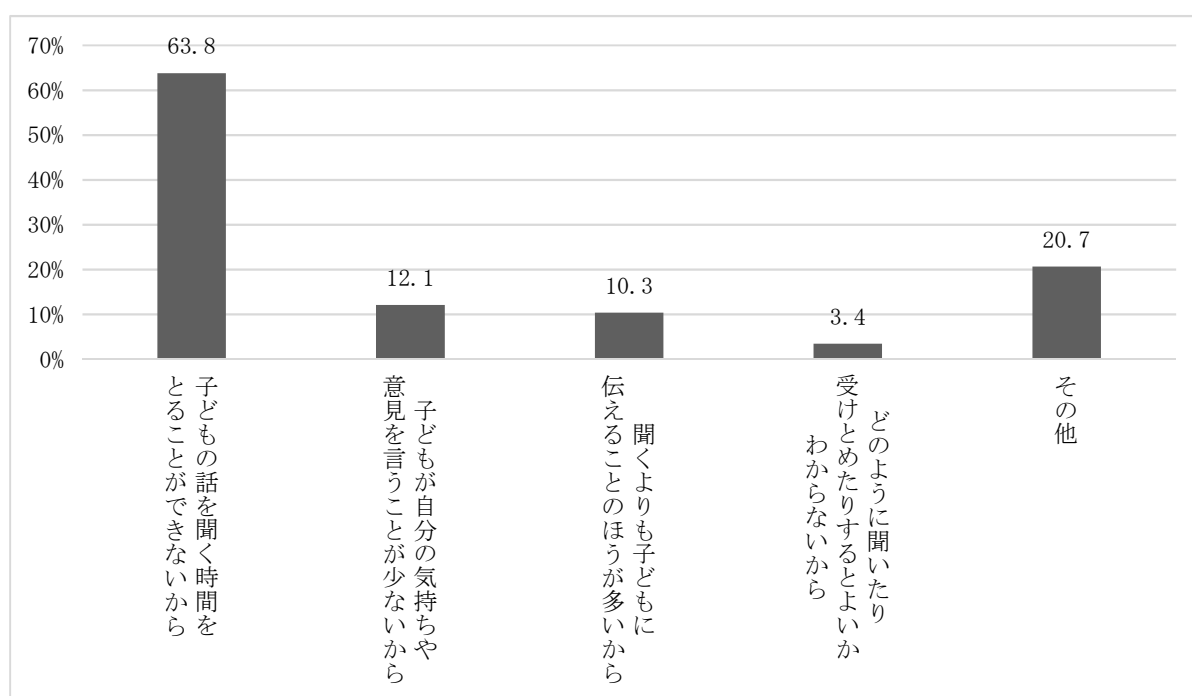
職員に、職場において、子どもの話を聞く時間がとれているかをたずねたところ、「とれている」と回答した割合が 82.1%でした。

図 27 Q 7 あなたは、職場において、子どもの話を聞く時間がとれていますか。【職員】 (％)



「とれていない」と回答した職員に対し、その理由をたずねたところ、「子どもの話を聞く時間を取ることができないから」と回答した割合が最も多く、63.8%でした。

図 28 Q 7-1 Q 7において、「とれていない」を選んだ人にお聞きします。その理由は何ですか。(複数選択可)【職員】 (％)



「その他」の回答については P. 126～参照

(2) 話したことの実現性

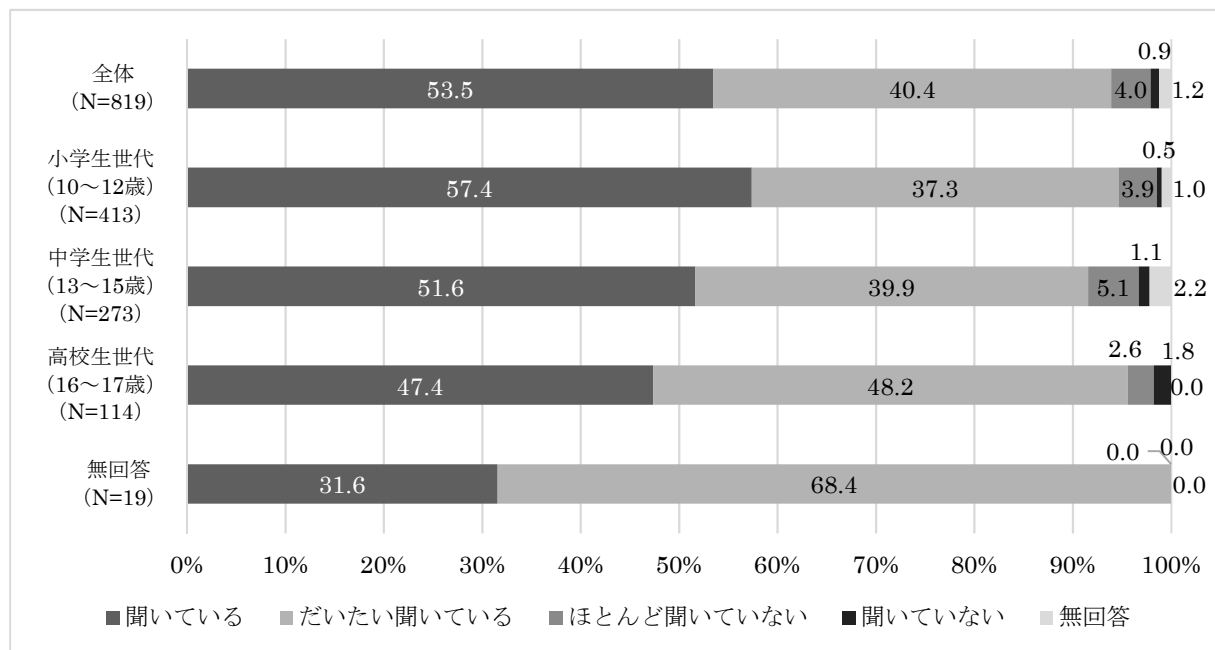
【子ども：世代別】

子どもに、家で何かをしたり、決めたりするとき、おとなはあなたの意見を聞いているかたずねたところ、子ども全体としては、「聞いている」、「だいたい聞いている」と回答した割合が合わせて 93.9%でした。

図 29 Q 8 家で何かをしたり、決めたりするとき、おとなはあなたの意見を聞いていますか。

【子ども：世代別】

(%)

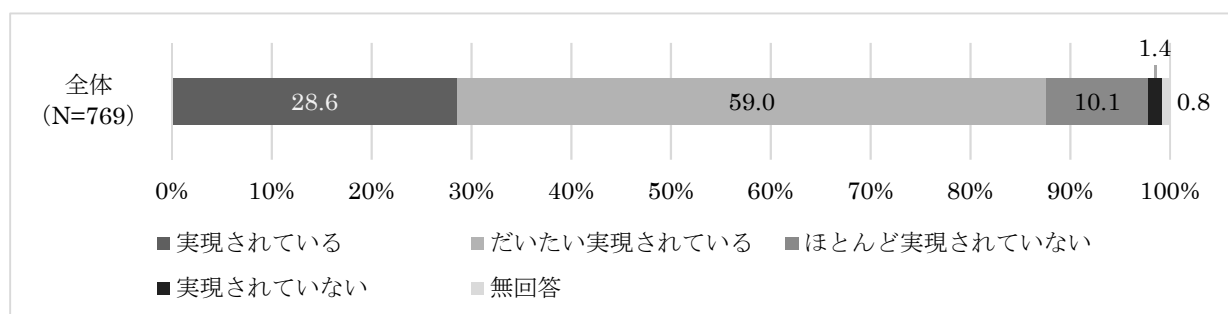


「聞いている」または「だいたい聞いている」を選んだ子どもに、聞いてもらった自分自身の意見は実現されたかたずねたところ、87.6%の子どもが「実現されている」、「だいたい実現されている」と答えました。

図 30 Q 8-1 Q 8において、「聞いている」または「だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。

聞いてもらった自分自身の意見は実現されましたか。【子ども】

(%)

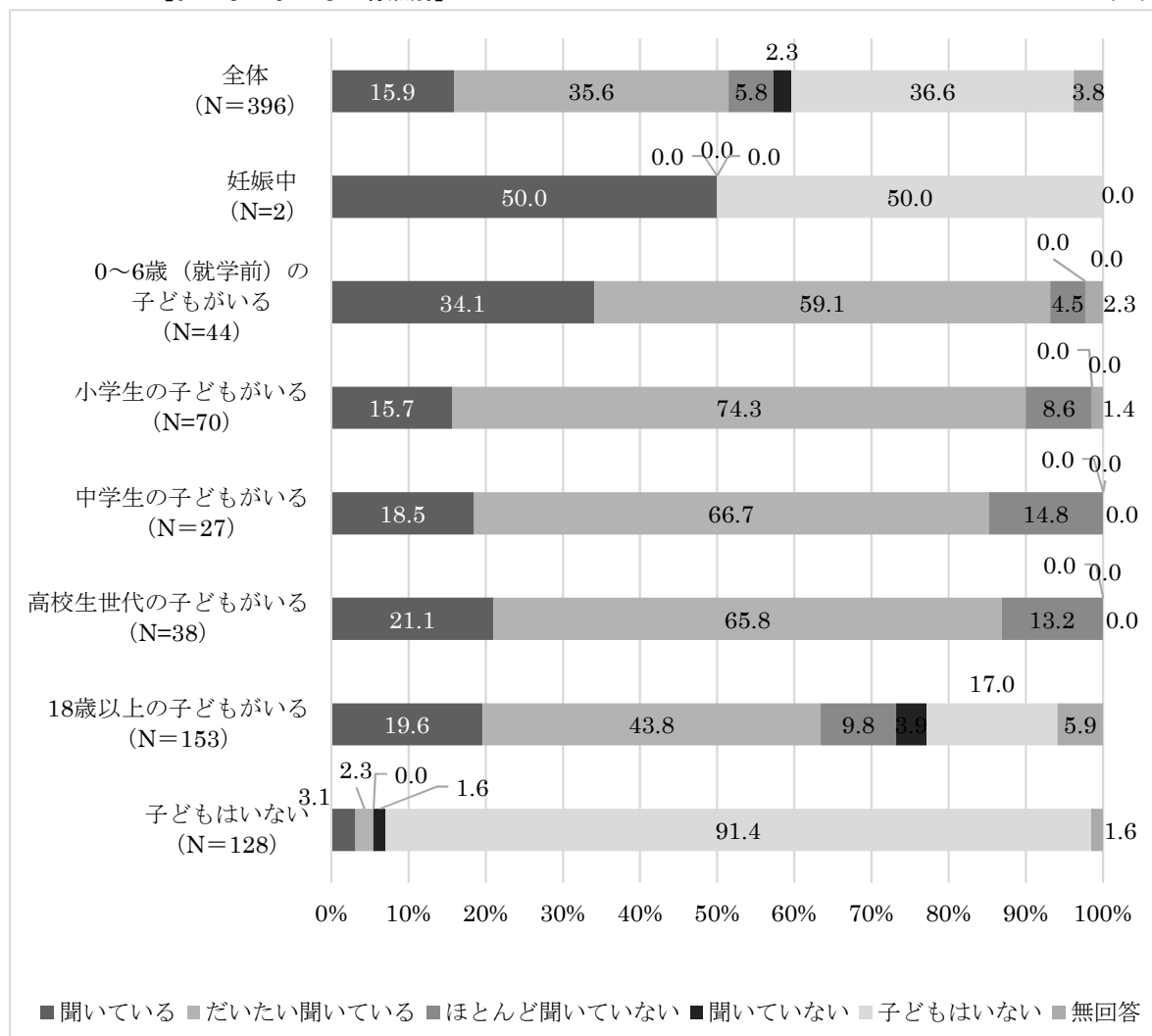


「実現されている」「だいたい実現されている」ことで印象に残っていることについてはP. 63～参照

【おとな：子どもの有無別】

おとなに、家のことで何かを決めるとき、子どもの意見を聞いているかをたずねたところ、「聞いている」、「だいたい聞いている」と回答したおとなは全体で 51.5%でした。「聞いている」、「だいたい聞いている」と回答した割合が最も高かったのは、「0～6 歳（就学前）の子どもがいる」おとなでした。

図 31 Q 8 あなたは、家のことで何かを決めるとき、子どもの意見を聞いていますか。
【おとな：子どもの有無別】

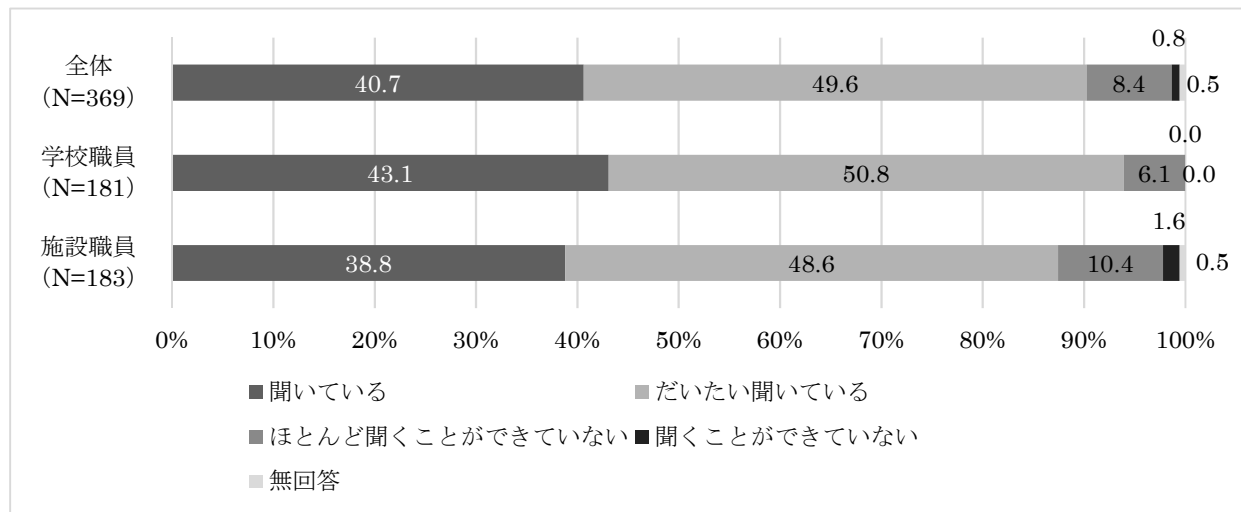


「聞いている」、「だいたい聞いている」と回答した人で
反映や実現できたことで印象に残っていることについては P. 98～参照
「ほとんど聞いていない」、「聞いていない」と回答した理由については P. 99～参照

【職員：施設別】

職員に、職場で子どもに関わること（運営方針、授業・保育内容、行事等）を決めるとき、子どもの思いや考えを聞いているかをたずねたところ、職員全体では、「聞いている」、「だいたい聞いている」と回答した割合は合わせて 90.3%でした。（図は P. 25 図 32 を参照）

図 32 Q 8 あなたの職場では、子どもに関わること（運営方針、授業・保育内容、行事等）を決めるとき、子どもの思いや考えを聞いていますか。【職員：施設別】 (%)



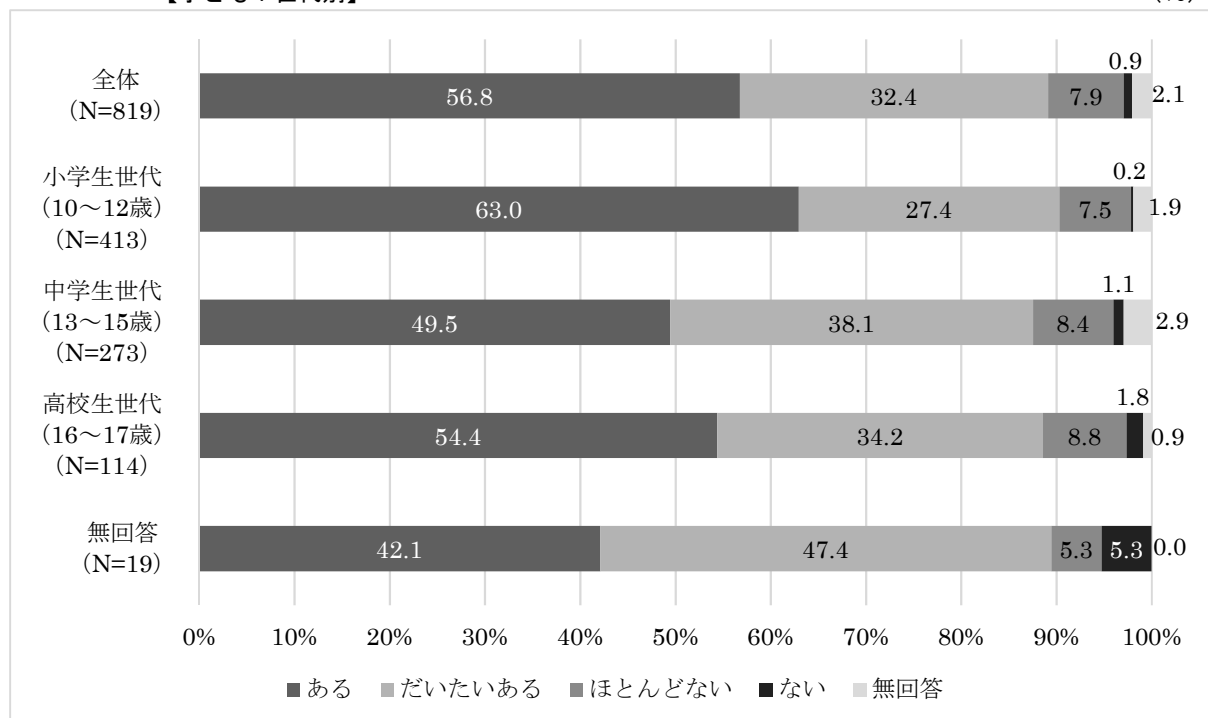
「ほとんど聞くことができていない」、「聞くことができていない」と回答した理由についてはP.127 参照

(3) ホットできる時間・場所

【子ども：世代別】

子どもに、遊んだり休んだり、自分の好きなことをしたりする時間が十分にあるかたずねたところ、子ども全体で「ある」、「だいたいある」と回答した割合は合わせて89.2%でした。

図 33 Q 9 あなたには、遊んだり休んだり、自分の好きなことをする時間が十分にありますか。【子ども：世代別】 (%)



【子ども：世代別】

子どもに、ホッとできる場所についてたずねたところ、全世代が「自宅」と回答した割合が最も高く、その中で一番ホッとできる場所についても、全世代が「自宅」と回答した割合が最も高くなりました。

図 34 Q10 あなたにとってホッとできる場所はどこですか。(複数選択可)【子ども：世代別】 (%)

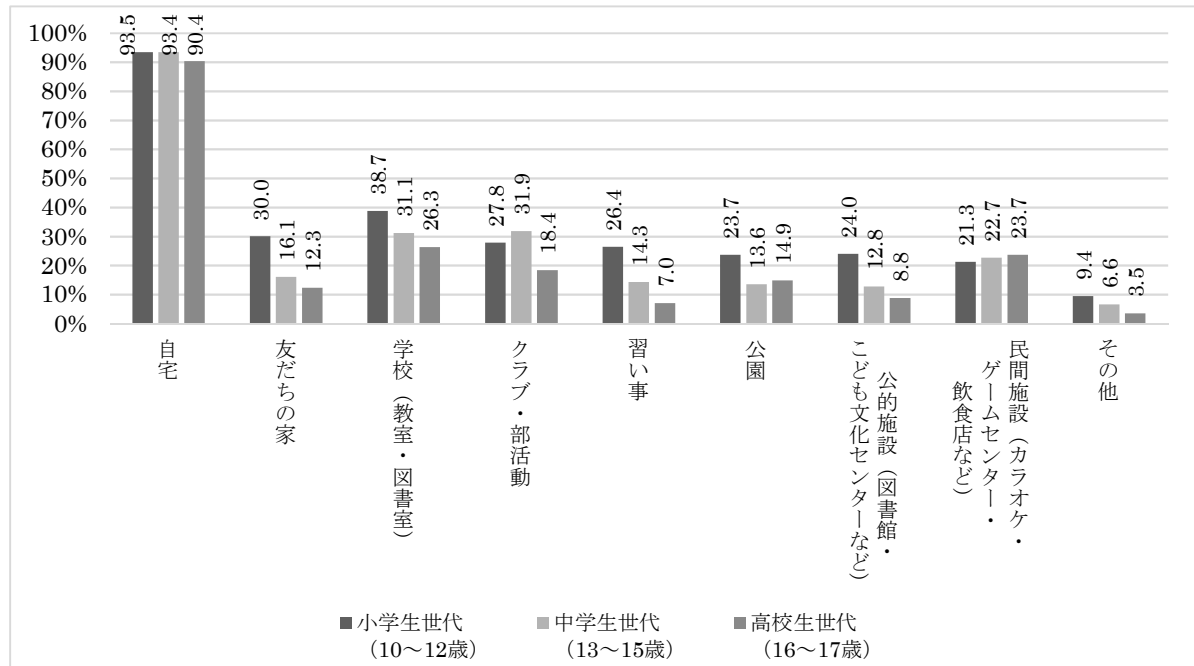
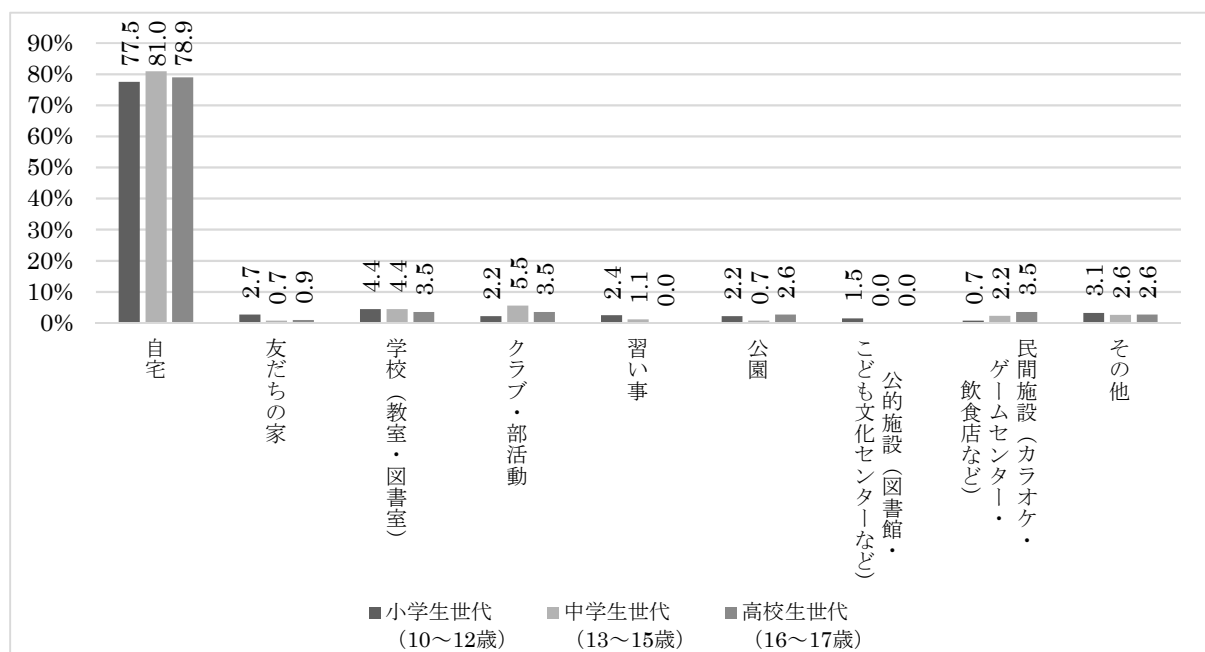


図 35 Q10 ホッとできる場所の中で一番ホッとできる場所はどこですか。【子ども：世代別】 (%)



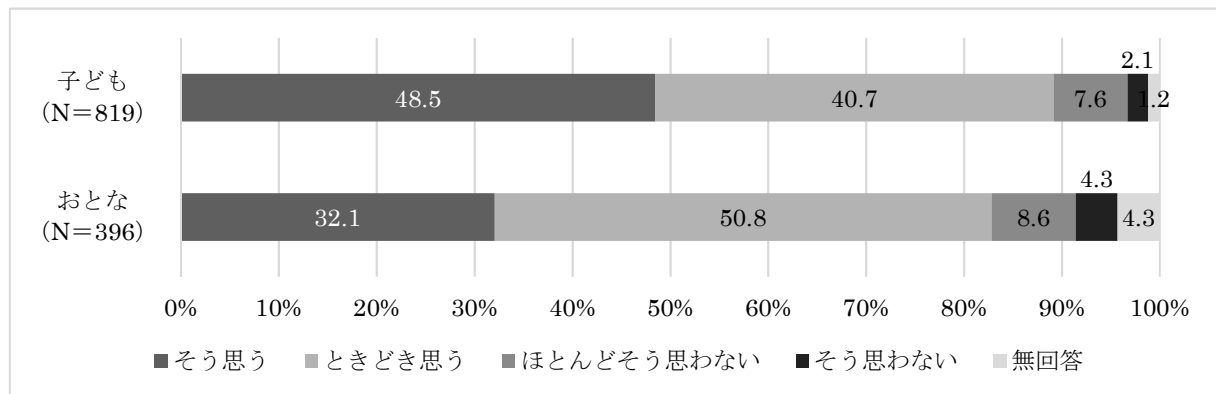
年齢無回答 19 件を含めない
「その他」の回答について P. 66 参照

(4) 大切にされているか

【子ども、おとな】

子どもとおとなに、生活のなかで文化・国籍などのちがい、障がいのあるなしにかかわらず、「子どもは大切にされている」と思うかたずねたところ、「そう思う」と答える割合は子どもが48.5%だったのに対し、おとなは32.1%でした。「そう思う」、「ときどき思う」を合わせると、子どもは89.2%、おとなは82.9%と肯定的な回答をした割合は子どもの方が高く、おとなと約6ポイントの差がありました。

図 36 Q11（「おとな」はQ12） あなたは、生活のなかで文化・国籍などのちがい、障がいのあるなしにかかわらず、「子どもは大切にされている」と思いますか。【子ども、おとな】（%）



【子ども】

子どもに、生活のなかで文化・国籍などのちがい、障がいのあるなしにかかわらず、「子どもが必要な支援を受けられている」と思うかたずねたところ、「そう思う」と答える割合は43.0%、「ときどきそう思う」と答えた割合は44.7%でした。

図 37 Q12 あなたは、生活のなかで文化・国籍などのちがい、障がいのあるなしにかかわらず、「子どもが必要な支援を受けられている」と思いますか。【子ども】（%）

